

教 科	国語	科 目	言語文化
履修条件 対象生徒	必履修 デザイン科 1 学年		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 		
学習方法	<p>[授業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の小説、韻文などの読解。 ・古典作品の読解とそのために必要な言語事項の理解。 ・調べたり考えたりしたことをもとにしたスピーチや発表。 <p>[家庭学習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の音読や読解、語句の意味調べ、古典の書写。 <p>[補習・その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補習では、文語文法や漢文の基本句形の学習、また評論文の読解等を行う。 ・読書は国語の力の基礎となる。様々な読書活動を通じて読解力を養うとともに多様な価値観に触れる。 ・定期的実施している漢字テストの勉強や検定勉強を通じて、基礎的な漢字力を身に付ける。 		
学習計画 と ねらい	<p><1学期末考査まで> 現代小説 舟を編む 説話 宇治拾遺物語 児のそら寝 随筆 徒然草 つれづれなるままに 丹波に出雲という所あり 故事史伝 狐借虎威 先従隗始</p> <p><2学期末考査まで> 近代小説 羅生門 伊勢物語 筒井筒 和歌 万葉集 古今集 新古今集 漢詩 登黄鶴楼 送元二使安西 春望</p> <p><学年末考査まで> 小説 葉桜と魔笛 戦争小説 沖縄の手記から 軍記物語 平家物語 思想 論語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作品のストーリーを文脈の中で正確に理解することができる。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 ・春秋・戦国時代の歴史的知識を踏まえ、郭隗が賢者を招こうとした経緯等を説明できている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 ・近現代に書かれた戦争文学を積極的に調査し、学習課題に沿って発表しようとしている。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 	
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度
	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	古典について調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明しようとしている。
評価方法	<p>○評価の観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」から総合的な評価を行う。</p> <p>○定期考査は、知識・理解を偏重することなく、3つの観点が評価できるよう作問を工夫する。</p> <p>○定期考査だけでなく、年間を通じて発表、作文、課題など、生徒の主体的な活動も重視する。またそれらの表現領域においては、テーマの設定から発表にいたる学習過程の全体を評価の対象とする。</p> <p>以上を総合的に判断して評価する。</p>		